

2022 年 11 月 7 日

**就労中に病気を患い、2018 年 1 月～2026 年 3 月の間に
産業医科大学病院で治療（外来受診あるいは入院加療）を受け、
1 日でも仕事をお休みする等、仕事への影響があった患者さんへのお知らせ**

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報の記録に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（西暦 2021 年 3 月 23 日制定 西暦 2022 年 3 月 10 日一部改正）」により、対象となる患者さんのお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の診療情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名 医療機関の多職種連携による包括的な治療と仕事の両立支援に関する実態調査
2. 研究期間 2021 年 5 月～2026 年 3 月
3. 研究機関 産業医科大学病院 就学・就労支援センター
産業医科大学 両立支援科学
4. 研究責任者 就学・就労支援センター 両立支援科
両立支援コーディネーター 看護師
細田悦子

5. 研究の目的と意義

本研究の目的は、就労している患者の皆さまが、検査や治療によって休職せざるを得ない際、あるいは、欠勤や作業困難など仕事への影響を抱えた際に、医療機関から職場復帰や就労継続を目指した治療と仕事の両立支援（以下、両立支援）を過不足なく受けられるように、両立支援の課題を検討する基礎データを得ることです。課題を解明することで有効な両立支援を提言及び実践でき、患者の皆さまのさらなる職業生活の充実を図ることができます。

我が国において、医療機関における両立支援の課題に関してまとめられた報告は未だなく、新規性の高い研究であり、ひいては、国内の両立支援の多職種連携

体制の確立に寄与いたします。

6. 研究の方法

就労中に病気を患い、2018年1月～2026年3月の間に、産業医科大学病院で外来受診あるいは入院加療を受けた20～70歳の患者さんのうち、以下に該当する方の疾患と治療に関する内容と仕事に関わる問診内容（注1）を電子カルテより抽出し、治療と仕事の両立支援の課題を検討する基礎データを作成します。

- ① 両立支援介入を自ら志望され、実際に本院による両立支援を受けた方
- ② 当院による両立支援を受けていないが、仕事への影響があった方（注2）

（注1）疾患と治療に関する内容と仕事に関する内容の具体的内容は以下の通りです。

疾患と治療に関する内容：診断名、検査結果、診療及び治療内容

仕事に関わる問診内容：仕事の業種、勤務情報提供書、就労背景、治療と仕事の両立に関する悩みや困難感等の問診、主治医による就労意見書・診断書

（注2）②は①の比較対象群としてランダムに選定します。

7. 個人情報の取り扱い

個人を特定できる情報はID匿名化を行い、個人が特定できない状態でデータを保持します。データは本研究の目的以外に用いられることはなく、パスワードで保護された記録媒体で保存します。また、紙媒体のデータはファイリングされ、デジタルデータとともに産業医科大学の施錠できる部屋で管理されます。データは5年間保存されたのち、再生できない形で破棄します。

本研究は既存の情報を利用するため、対象者からのインフォームド・コンセントは必ずしも必要ではありませんが、研究参加の拒否は自由です。研究への参加にご同意いただけない患者さんは下記問い合わせ先にご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。

8. 問い合わせ先

産業医科大学病院 就学・就労支援センター 両立支援科
細田悦子 TEL 093-603-1611(内線 5089)

9. その他

研究への参加に対する直接的な利益はありません。また、費用の負担や謝礼もありません。本研究は一切の利益相反はなく、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。